

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年)

2. 分野等別状況(2)地域活性化総合特区 ③アジア分野(4/5)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
札幌コンテンツ特区(北海道札幌市)	正	C 3.3	C 3.2 進捗度 ・札幌におけるロケ撮影等映像制作の誘致・実施に伴う経済効果 117% ・札幌の事業者が制作した映像の海外輸出額 15% ・札幌市への外国人宿泊者実人数 121%	C 3.3 規制の特例等 ・地域活性化総合特別区域通訳案内士育成等事業 等 財政支援等 ・コンテンツ産業強化対策支援事業(海外商談会への出展、ファンド関連調査等) 等 地域独自の取組 ・札幌市映像制作助成金 等	±0.00	<p>・何が強みで、どのような形で、札幌をコンテンツ産業拠点都市としていくのか、そして地域の活性化につなげていくのかを、再度、よく考えた取組が必要である。</p> <p>・総合特区計画認定後2年が経過するが、映像製作による経済効果の拡大(※1)や映像輸出の増加(※2)という側面では2年後の目標達成に向けた具体的な進捗状況が見通せない状況にある。</p> <p>※1:「札幌におけるロケ撮影等映像制作の誘致・実施に伴う経済効果」に関する数値目標として、平成25年度の約14億円を、平成27年度に144億円に拡大させるとしている。</p> <p>※2:「札幌の事業者が制作した映像の海外輸出額」に関する数値目標については、平成24年度・25年度ともに、大幅な未達(平成24年度の達成率は40%)となっている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

*2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況について」も評価している。